

第196回拡大中央委員会へのメッセージ

【友誼組合・団体】

1 全日本運輸産業労働組合連合会	中央執行委員長	成田 幸隆
2 サービス・ツーリズム産業労働組合連合会	会長	櫻田 あすか
3 全日本港湾労働組合	中央執行委員長	鈴木 誠一
4 全国労協事業労働組合連合会	会長	平山 仁
5 全日本自治団体労働組合	中央執行委員長	石上 千博
6 全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会	中央執行委員長	中村 恭士
7 全国林野関連労働組合	中央執行委員長	中村 恭士
8 全日本水道労働組合	中央執行委員長	古矢 武士
9 全国労働組合連絡協議会		渡邊 洋
10 東京都労働組合連合会	執行委員長	中川 崇
11 フォーラム平和・人権・環境	共同代表	染 裕之・丹野 久
12 原水爆禁止日本国民会議	共同議長	川野浩一・金子哲夫・染 裕之
13 鉄道退職者の会	会長	玉之内 明徳
14 こくみん共済ＣＯＯＰ	理事長	打越 秋一
15 全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合	理事長	上村 良成

【政党・国会議員・弁護団】

16 立憲民主党	代表	
17 社会民主党	党首	福島 みずほ
18 日本共産党中央委員会		

※ありがとうございました。（敬称略・順不同）

メッセージ

国鉄労働組合 御中

国鉄労働組合第196回拡大中央委員会のご盛會を祝しますとともに、日頃の労働運動の前進にむけた積極的な取り組みに対し、心より敬意を表します。

さて、1月19日に、高市首相は、連立政権の枠組みや「責任ある積極財政」、安全保障関連三文書の見直しなど、高市政権が掲げる政策を前に進めるために、国民の信を問うとして、23日に開かれる通常国会冒頭での衆議院解散を表明しました。しかし、前回の衆院選から1年3ヵ月と4年の任期の半分さえも終わっていない上、物価高対策などをまとめた新年度予算案の年度内成立が困難となるなど、今回の解散総選挙は党利党略に他ならず、大義が全くないものと言わざるを得ません。

いま求められているのは、急務である物価高対策などをはじめ、生活と暮らしを守る政策を着実、かつ迅速に実現していくことが最も重要であり必要なものです。

こうした状況下で、いよいよ2026春闘がスタートします。2025春闘において2年連続となる5%を超える賃上げが実現しましたが、物価高は依然として続いており、実質賃金はマイナスとなっています。そうした状況を踏まえれば、2026春闘においても、持続的かつ物価上昇を超える賃上げの実現にむけ、労働組合全体で積極的に取り組み、その成果を広く波及させていかなければなりません。

自治労も地域公共サービス労働者の賃金改善と同時に、質の高い公共サービスにむけた政策・制度の実現をめざし、連合に結集し、民間産別と一体となって、賃上げ・処遇改善に尽力していきます。

最後に、今拡大中央委員会において、方針の確立にむけた皆さまの活発なご議論がなされるとともに、今後の貴組織の更なる発展を祈念し、本日のメッセージとさせていただきます。

ともにがんばりましょう。

2026年1月27日

全日本自治団体労働組合
中央執行委員長 石上千博

